



平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年12月27日

上場会社名 株式会社ヒマラヤ

上場取引所 東証一部・名証一部

コード番号 7514

URL <http://www.himaraya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野水 優治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 増田 康裕

TEL (058) 271-6622

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無

四半期決算説明会開催の有無：有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第1四半期の連結業績（平成25年9月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	14,711	3.8	△328	-	△308	-	△376	-
25年8月期第1四半期	14,176	8.0	△203	-	△163	-	△119	-

(注) 包括利益 26年8月期第1四半期 △347百万円 (-%) 25年8月期第1四半期 △95百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年8月期第1四半期	△30	57	-	-
25年8月期第1四半期	△9	74	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年8月期第1四半期	44,182		12,390		28.0	
25年8月期	36,534		12,848		35.2	

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 12,390百万円 25年8月期 12,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年8月期	-		9.00	-	9.00	18.00
26年8月期	-					
26年8月期(予想)			10.00	-	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

3. 平成26年8月期の連結業績予想（平成25年9月1日～平成26年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	33,000	4.9	695	△16.7	710	△20.4	340	△11.1	27	60
通期	70,000	6.0	2,870	11.7	2,900	8.6	1,520	24.1	123	37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無

② ①以外の会計方針の変更： 有・無

③ 会計上の見積りの変更： 有・無

④ 修正再表示： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年8月期1Q	12,320,787株	25年8月期	12,320,787株
② 期末自己株式数	26年8月期1Q	156株	25年8月期	156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年8月期1Q	12,320,631株	25年8月期1Q	12,320,632株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年9月1日～平成25年11月30日)における我が国の経済は、新興国の景気減速懸念といった世界経済環境への継続的リスクは残るものの、米国中心に回復傾向にある海外経済と、政府の経済政策や金融政策への期待感を受けて、円安の進行による輸出関連企業の景況感に改善が見られました。さらに株価上昇による景気回復への期待感の高まりと合わせ、国内経済への先行きに明るさが見られています。

連結会社が属しておりますスポーツ用品販売業界におきましては、健康への意識の高まりによるスポーツ参加人口の増加、富士山の世界文化遺産登録によるトレッキングへの需要の高まりも継続して見られ堅調に推移している中、2020年オリンピックの東京開催が決定し、7年後へ向けて大きな期待が高まっております。

一方で、エネルギーコストの上昇による光熱費の上昇や消費税増税の動きに対する生活防衛意識の高まりにより、個人の消費行動は厳しい選別基準を伴うものになると注視しております。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間における連結会社の売上げは、衣料系全般が秋口の天候不順などの影響を受けてやや低調に推移したものの、一般スポーツ用品はランニングブームに代表される健康志向の高まりが継続していることからシューズを中心に関連商品群が好調であったこと、2014年サッカーワールドカップへ向けてサッカー市場が活性化していることなどから前年同期比103.7%となりました。ゴルフ用品は、ゴルフクラブの一品単価下落および価格競争の激化により厳しい環境にあるものの、9月度に実施した旗艦店であるゴルフ本店(岐阜県岐阜市)の増床リニューアルオープンの効果も有り、前年同期比101.4%となりました。アウトドア用品は富士山の世界文化遺産登録による新規参入層の裾野の拡大によりアウトドアフィールド需要が活性化していることなどから、前年同期比109.8%となりました。

連結売上総利益率は、11月中旬までの気温が高く推移したことなどにより、前年同期に比べ季節商材である冬物防寒衣料等の動きが振るわなかったことなどから37.0%となり、前年同期に比べ0.7ポイント低下いたしました。

店舗については、株式会社ヒマラヤにて6店舗を出店、2店舗を増床、1店舗を閉店、株式会社ビーアンドディーにて1店舗を出店いたしました。その結果、平成25年11月末時点で連結会社の店舗数は全国に株式会社ヒマラヤ112店舗、株式会社ビーアンドディー32店舗となり合計144店舗、売場面積は248,601㎡となりました。

販売費及び一般管理費については、新規出店時の一時費用、および店舗運営費用全般の見直し、抑制を継続的に実施した結果、当初計画に対して減少いたしました。

また、特別損失として株式会社ビーアンドディーにおいて早期退職関連損失85百万円を計上しております。これは、経営体質の強化を目的に人材活性化を図るためのものであります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は売上高14,711百万円(前年同期比3.8%増)、営業損失328百万円(前年同期は203百万円の営業損失)、経常損失308百万円(前年同期は163百万円の経常損失)、四半期純損失376百万円(前年同期は119百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は28,836百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,040百万円増加いたしました。これは主に商品が5,907百万円増加したことによるものであります。固定資産は15,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ607百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が543百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は44,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,647百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は23,023百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,907百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が6,959百万円増加したことによるものであります。固定負債は8,769百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,198百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は31,792百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,106百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は12,390百万円となり、前連結会計年度末に比べ458百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失376百万円および剰余金の配当110百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は28.0%(前連結会計年度末は35.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の連結業績予想につきましては、平成25年9月27日付「平成25年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,160	4,421
売掛金	968	1,455
商品	15,280	21,187
貯蔵品	10	9
繰延税金資産	307	391
その他	1,068	1,371
流動資産合計	21,795	28,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,862	5,649
土地	1,476	1,476
建設仮勘定	361	5
その他(純額)	733	847
有形固定資産合計	7,434	7,977
無形固定資産		
のれん	230	210
ソフトウェア	282	260
その他	47	47
無形固定資産合計	559	518
投資その他の資産		
投資有価証券	639	668
長期貸付金	857	1,037
差入保証金	3,876	3,969
繰延税金資産	682	654
その他	715	547
貸倒引当金	△26	△27
投資その他の資産合計	6,745	6,849
固定資産合計	14,738	15,345
資産合計	36,534	44,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,057	16,017
短期借入金	1,200	1,700
1年内償還予定の社債	15	—
1年内返済予定の長期借入金	3,042	3,320
リース債務	8	7
未払法人税等	746	36
賞与引当金	509	745
店舗閉鎖損失引当金	—	34
資産除去債務	—	8
その他	1,537	1,151
流動負債合計	16,115	23,023
固定負債		
長期借入金	5,724	6,829
リース債務	5	—
役員退職慰労引当金	339	337
退職給付引当金	216	283
ポイント引当金	120	120
資産除去債務	1,013	1,050
その他	151	148
固定負債合計	7,570	8,769
負債合計	23,686	31,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,544	2,544
資本剰余金	4,004	4,004
利益剰余金	6,189	5,701
自己株式	△0	△0
株主資本合計	12,737	12,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111	140
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益累計額合計	111	140
純資産合計	12,848	12,390
負債純資産合計	36,534	44,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
売上高	14,176	14,711
売上原価	8,836	9,262
売上総利益	5,340	5,449
販売費及び一般管理費	5,544	5,778
営業損失(△)	△203	△328
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	0	0
受取賃貸料	82	81
その他	60	30
営業外収益合計	147	116
営業外費用		
支払利息	20	15
不動産賃貸費用	76	70
その他	11	11
営業外費用合計	107	96
経常損失(△)	△163	△308
特別損失		
減損損失	7	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	34
早期退職関連損失	—	85
特別損失合計	7	120
税金等調整前四半期純損失(△)	△171	△429
法人税、住民税及び事業税	23	3
法人税等調整額	△74	△56
法人税等合計	△51	△52
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△119	△376
四半期純損失(△)	△119	△376

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△119	△376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	28
繰延ヘッジ損益	0	0
その他の包括利益合計	24	28
四半期包括利益	△95	△347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95	△347
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。